

燃やせるごみ5年で50%減量！！

## 燃やせるごみの組成分析調査

立川市では、平成21年度と23年度に燃やせるごみの組成分析調査を実施してきました。

組成分析調査することにより、ごみ質や分別状況を把握することができます。

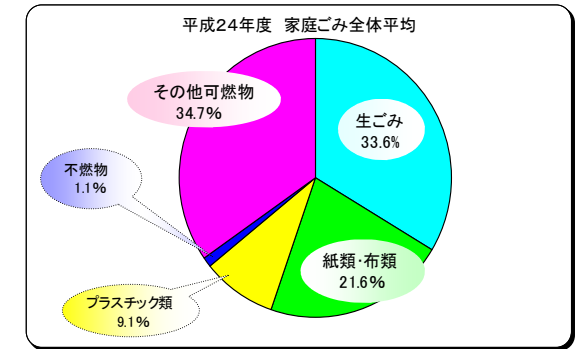
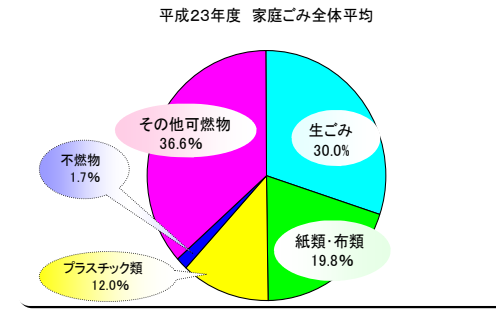
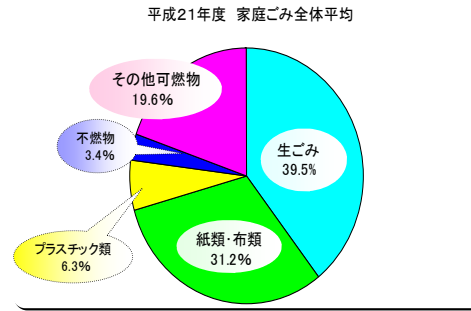
今年度も平成21・23年度の組成分析調査対象と同じ地区・業種を24年4月・5月で延べ9日間、燃やせるごみの組成分析調査を行いました。

搬入されたごみ袋を一つ一つ手作業で開き、生ごみ（厨芥類）・紙類・布類（資源）・プラスチック類・不燃物（びん・缶含む）・その他可燃物の5種類に分類しました。

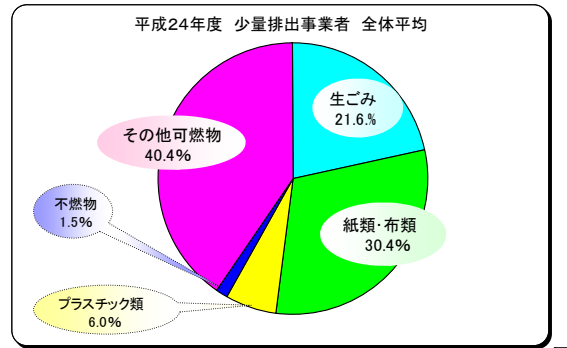
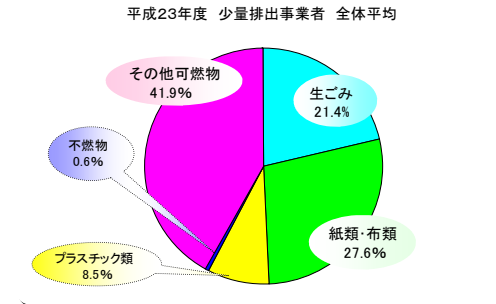
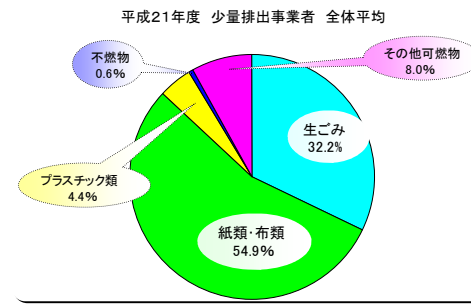
作業の様子  
職員が、ごみ袋を開いて5種類に分類作業しています。



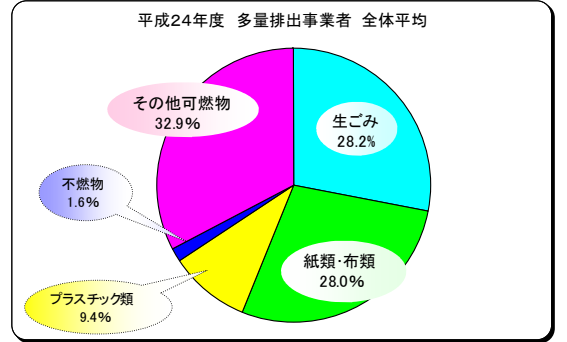
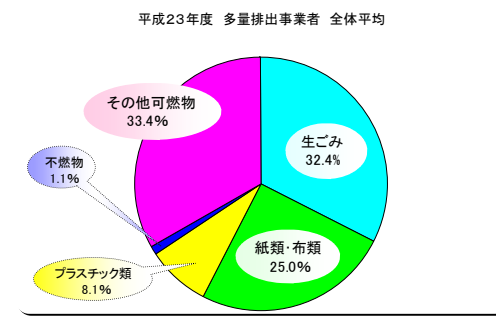
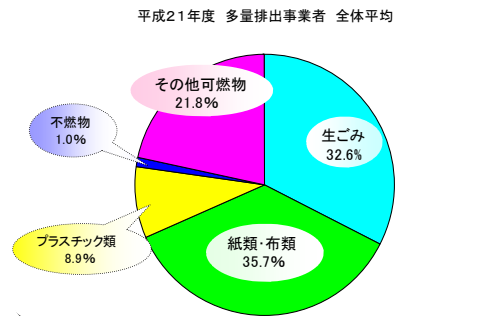
### 家庭の燃やせるごみ組成分析結果



### 少量排出事業者の燃やせるごみ組成分析結果



### 多量排出事業者の燃やせるごみの組成分析結果



調査の結果から、燃やせるごみの中に、燃やせないごみや資源として利用できるものがまだ多く含まれていることがわかります。平成21年度から平成23年度では、市民や事業者の皆さんの協力によって分別が進み、資源物の混入が減ってきている状況がわかりますが、平成23年度から平成24年度ではあまり変化が現れていません。分別にあまり関心がない市民への啓発をさらに強化していく必要があります。

燃やせるごみの減量には、さらなる分別の徹底が必要となります！！

- 生ごみの約70%を占めると言われている水分を「きゅっとひとしぼり」水切りすることで燃やせるごみの減量になります。
- 紙類の「雑誌・本・雑がみ等」、布類の「古布」は大切な資源です。燃やせるごみとして出さずに、分別して資源として出してください。
- プラスチックは、プラマーク（注1）がついているものは「容器包装プラスチック」、プラマーク（注1）がついていないものは「その他プラスチック」分けて汚れている物は軽くすすぐか、汚れをふき取ってから出してください。
- 缶・びん類は、リサイクルポストにそれぞれに分けて出してください。

（注1）プラマーク

